

フジワン乳剤

[イソプロチオラン乳剤]

農林水産省登録 第13277号

有効成分 イソプロチオラン…40.0%

性状 淡褐色透明可乳化油状液体

安全性：普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称） 危険物：4-2石-III 有効年限：5年 包装：
500ml×20、5l×4 RACコード：殺菌[6]

特長

- 浸透移行性に優れ、いもち病に対して安定した効果が長期間持続するとともに、稲こうじ病を同時防除できる。
- 穂ばらみ期から穂揃い期の散布で稲の登熟歩合向上効果を発揮する。
- 無人ヘリコプターでの散布にも使用できる。

効果、薬害等に関する注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。
- アルカリ性薬剤との混用はさける。
- 本剤はいもち病発生に際して予防的に散布した方がより効果的である。
- 葉いもちに対しては、発生が予想される場合、又は初発生を見たら直ちに散布する。
- 本剤を空中散布及び無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意事項を守る。
 - 散布は各散布機種種の散布基準に従って実施する。
 - 少量散布の場合には、微量散布装置以外の散布器具は使用しない。
 - 無人航空機による散布にあつては散布機種種に適合した散布装置を使用する。
 - 散布中、薬液の漏れないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行う。
 - 特定の農薬（混用可能が確認されているもの）を除いて原則として他の農薬との混用は行わない。
 - 散布薬液の飛散によって自動車の塗装等に被害を生じるおそれがあるので、散布区域内の諸物件に十分留意する。
 - 散布終了後は次の項目を守る。
 - 使用後の空容器は圃場などに放置せず適切に処理する。
 - 機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理する。
- 本剤を本田の水稻に対して希釈倍数300倍で散布する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の速度連動式地上液剤散布装置を使用する。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

安全使用上の注意事項

- 誤飲などのないよう注意する。
- 眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意する。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。

- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン長袖の作業衣などを着用する。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼うがいをするとともに衣服を交換する。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。

■ 水産動植物に対する注意事項

- 水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので、養魚田では使用しない。
- 空中散布及び無人航空機による散布で使用する場合は、河川、養殖池等に飛散しないよう特に注意する。

適用内容

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イソプロチオランを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 稲こうじ病	1000倍	60~150ℓ/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	3回以内（移植前は1回以内、本田では2回以内）
		300倍	25ℓ/10a				
		30倍	3ℓ/10a				
		8倍	800mℓ/10a			無人航空機による散布	
きく	白さび病	1000倍	100~300ℓ/10a	発病初期	5回以内	散布	5回以内 (浸漬は1回以内)

作物名	使用目的	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イソプロチオランを含む農薬の総使用回数
稲	登熟歩合向上	1000倍	150ℓ/10a	穂ばらみ期~穂揃い期 但し、収穫14日前まで	2回以内	散布	3回以内（移植前は1回以内、本田では2回以内）

製品写真



最新の登録内容はこちら

